

県内中小企業(製造業)景況動向

令和2年10月～12月期

回復の兆しが見られるものの、依然として閉塞感が漂う

本会調査結果概要

2年4月～6月



DI 平均値▲70.4

2年7月～9月



DI 平均値▲62.9

2年10月～12月



DI 平均値▲50.1

来期見通



DI 平均値▲32.5

※DI 平均値=(売上高DI+収益性DI)/2

DI 平均値(同期比)については▲50.1となり、前回調査(2年7～9月期)の▲62.9から12.8ポイント上昇している。来期見通しにおいては17.6ポイント上昇して▲32.5くなっている。

<概況>

回収率：53.6% (268社)

平均従業員数：53.3人

売上高DI (同期比)

前期	今期	「増加」
▲61.5	▲48.3	+13.2P

収益性DI (同期比)

前期	今期	「好転」
▲64.3	▲51.8	+12.5P

業況DI (同期比)

前期	今期	「好転」
▲59.5	▲44.9	+14.6P

原材料価格DI (前期比)

前期	今期	「上昇」
13.0	17.6	+4.6P

販売価格DI (前期比)

前期	今期	「上昇」
▲11.0	▲6.0	+5.0P

資金繰りDI (前期比)

前期	今期	「好転」
▲25.0	▲18.9	+6.1P

金融機関の態度DI (前期比)

前期	今期	「硬化」
1.1	▲1.9	▲3.0P

設備操業率DI (前期比)

前期	今期	「上昇」
▲23.4	▲7.8	+15.6P

設備投資実施率 (前期比)

前期	今期	「減少」
24.2%	23.0%	▲1.2P

繊維・同製品

4～6	7～9	10～12	来期見通
▲87.5	▲75.0	▲56.5	▲54.2

同期比の売上高DIは▲57.1、収益性DIは▲55.9で、両方を合せたDI平均値は▲56.5となり「雨」模様が続いている。来期見通しは2.3ポイント上昇して▲54.2となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲22.2、収益性DIは▲29.6となった。

また、雇用人員判断DIは22.2、設備操業率DIは▲14.8、設備投資実施率は14.3%、来期の設備投資計画率は9.7%となった。

食料品

4～6	7～9	10～12	来期見通
▲71.5	▲54.2	▲43.4	▲31.1

同期比の売上高DIは▲42.2、収益性DIは▲44.5で、両方を合せたDI平均値は▲43.4となり「雨」模様が続いている。

来期見通しは12.3ポイント上昇して▲31.1となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは15.5、収益性DIは▲7.5となった。

また、雇用人員判断DIは10.0、設備操業率DIは5.3、設備投資実施率は28.9%、来期の設備投資計画率は18.6%となった。

業種別景況動向

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲100.0	▲88.9	▲75.1	▲57.2

同期比の売上高D Iは▲71.5、収益性D Iは▲78.6で、両方を合せたD I平均値は▲75.1となり「雨」模様が続いている。来期見通しは17.9ポイント上昇して▲57.2となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは7.1、収益性D Iは▲14.3となった。

また、雇用人員判断D Iは▲21.4、設備操業率D Iは▲14.3、設備投資実施率は8.3%、来期の設備投資計画率は9.1%となった。

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲56.6	▲46.3	▲47.0	▲38.3

同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲47.0で、両方を合せたD I平均値は▲47.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは8.7ポイント上昇して▲38.3となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲29.5、収益性D Iは▲23.5となった。

また、雇用人員判断D Iは12.5、設備操業率D Iは▲29.4、設備投資実施率は12.5%、来期の設備投資計画率は5.9%となった。

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲78.4	▲75.0	▲47.3	▲8.6

同期比の売上高D Iは▲47.3、収益性D Iは▲47.2で、両方を合せたD I平均値は▲47.3となり「雨」模様が続いている。来期見通しは38.7ポイントの大幅上昇で▲8.6となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは30.6、収益性D Iは24.2となった。

また、雇用人員判断D Iは▲3.4、設備操業率D Iは13.8、設備投資実施率は33.3%、来期の設備投資計画率は33.3%となった。

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲24.5	▲22.7	▲14.6	▲29.3

同期比の売上高D Iは▲12.2、収益性D Iは▲17.0で、両方を合せたD I平均値は▲14.6となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは14.7ポイント下降して▲29.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは26.8、収益性D Iは22.2となった。

また、雇用人員判断D Iは41.6、設備操業率D Iは5.6、設備投資実施率は22.5%、来期の設備投資計画率は36.1%となった。

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲88.3	▲75.0	▲38.5	7.7

同期比の売上高D Iは▲46.2、収益性D Iは▲30.8で、両方を合せたD I平均値は▲38.5となり「雨」模様が続いている。来期見通しは46.2ポイントの大幅上昇で7.7となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲7.7、収益性D Iは16.7となった。

また、雇用人員判断D Iは▲8.4、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は15.4%、来期の設備投資計画率は30.8%となった。

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲82.7	▲84.2	▲79.9	▲37.1

同期比の売上高D Iは▲66.7、収益性D Iは▲93.0で、両方を合せたD I平均値は▲79.9となり「雨」模様が続いている。来期見通しは42.8ポイントの大幅上昇で▲37.1となるものの「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲21.6、収益性D Iは▲17.8となった。

また、雇用人員判断D Iは▲7.0、設備操業率D Iは▲22.8、設備投資実施率は25.0%、来期の設備投資計画率は25.4%となった。

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合